



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月5日

上場会社名 ハビックス株式会社
 コード番号 3895 URL <https://www.havix.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 伊神 清隆

TEL 058-296-3911

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,629	19.0	162	22.8	152	30.3	99	34.5
2020年3月期第1四半期	3,246	1.1	210	14.6	218	12.4	152	12.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 138百万円 (2.1%) 2020年3月期第1四半期 141百万円 (21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	12.72	
2020年3月期第1四半期	19.50	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,909	8,350	56.0
2020年3月期	15,484	8,353	53.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,350百万円 2020年3月期 8,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		18.00	18.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2020年3月期配当金の内訳 普通配当16円00銭 第70期記念配当2円00銭

2021年3月期(予想)配当金の内訳 普通配当10円00銭

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては未定としておりましたが、本日(2020年8月5日)公表いたしました。詳細につきましては、「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	23.1	175	63.1	170	67.1	120	66.2	15.33
通期	10,500	18.4	450	52.3	450	56.6	310	45.2	39.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 2021年3月期の連結業績予想につきましては未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定し、本日(2020年8月5日)公表いたしました。詳細につきましては、「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,175,280 株	2020年3月期	8,175,280 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	340,131 株	2020年3月期	340,131 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	7,835,149 株	2020年3月期1Q	7,804,679 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う海外からの入国制限、外出の自粛要請、特定施設の使用制限または停止要請、大規模イベントの取りやめ等により、景気の停滞感が鮮明となりました。

当社グループが製品を提供する外食産業市場につきましては、外国人訪日客の激減、時短営業、休業要請等により極めて大きな影響を受けており、依然として先行き不透明な状況が続いております。また衛生材料市場におきましても、2～3月にかけて発生した紙製品をはじめとする日用品の買いだめ特需の反動もあり、紙おむつ等の販売数量が伸び悩みました。一方、主要原材料であるパルプの価格動向につきましては、世界的な景気減速の影響等により下落傾向で推移しました。

このような環境のなか、当社グループは全社員が感染拡大防止に注力しつつ、販売促進を継続的に展開するとともに、全拠点において品質改善・生産性向上・コスト削減等の抜本的改革を推進し、収益性を高めるべく企業体質の強化を図ってまいりましたが、業績への貢献は限定的となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,629百万円(前年同期比19.0%減)、営業利益は162百万円(同22.8%減)、経常利益は152百万円(同30.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は99百万円(同34.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

a. 不織布関連事業

パルプ不織布は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として「ステイホーム」の習慣が推奨されたこと等により家庭用クッキングペーパーの販売が伸長しましたが、外食産業の市場縮小に伴い、主力製品である業務用クッキングペーパーやおしぼり向け製品の受注が大幅に減少しました。化合織不織布は、新規販売先への拡販活動を積極的に展開しましたが、当セグメントの業績は全体的に停滞し、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,310百万円(前年同期比31.3%減)、セグメント利益は199百万円(同33.4%減)となりました。

b. 紙関連事業

衛生用紙は、昨年末に稼働を開始した新設の衛生用紙生産ラインの安定稼働に注力するとともに、衛生材料市場における紙おむつやペットシート向け製品、さらには各種ワイパー向け製品の拡販活動を積極的に展開しましたが、外食産業の市場縮小に伴いおしぼりやテーブルナプキン向け製品の受注が低迷し、売上高は減少しました。一方で、生産性の向上やコスト削減に取り組んだことに加え、パルプ価格や燃料価格が下落傾向で推移したことにより利益は増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,318百万円(前年同期比1.5%減)、セグメント利益は181百万円(同32.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

a. 資産

総資産は、前連結会計年度末と比べ574百万円減少して14,909百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が182百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が468百万円、現金及び預金が213百万円、機械装置及び運搬具が70百万円減少したことによるものであります。

b. 負債

負債は、前連結会計年度末と比べ571百万円減少して6,559百万円となりました。これは主に、電子記録債務が411百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が399百万円、流動負債のその他に含まれる設備関係支払手形が276百万円、未払法人税等が174百万円、長期借入金が105百万円減少したことによるものであります。

c. 純資産

純資産は、前連結会計年度末と比べ2百万円減少して8,350百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が29百万円、為替換算調整勘定が8百万円増加したこと、利益剰余金が41百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は56.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月11日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」におきまして、新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、連結業績予想を合理的に算定することが困難であったため未定としておりました。

この度、第1四半期の業績および現時点において入手可能な予測等を踏まえ、通期連結業績予想を算定いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年8月5日)公表いたしました「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,148,380	2,935,048
受取手形及び売掛金	2,758,405	2,289,511
電子記録債権	1,631,827	1,683,524
有価証券	21,022	11,539
商品及び製品	354,170	434,596
仕掛品	15,486	17,299
原材料及び貯蔵品	417,547	600,261
その他	164,771	65,045
貸倒引当金	△70	△64
流動資産合計	8,511,541	8,036,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,128,883	5,129,972
減価償却累計額	△2,329,934	△2,368,413
建物及び構築物（純額）	2,798,949	2,761,559
機械装置及び運搬具	9,134,885	9,148,677
減価償却累計額	△6,703,549	△6,788,009
機械装置及び運搬具（純額）	2,431,335	2,360,667
土地	1,175,984	1,175,984
建設仮勘定	9,529	32,851
その他	479,810	483,042
減価償却累計額	△367,658	△369,283
その他（純額）	112,152	113,759
有形固定資産合計	6,527,951	6,444,823
無形固定資産	118,025	105,049
投資その他の資産		
その他	371,584	367,989
貸倒引当金	△44,861	△44,861
投資その他の資産合計	326,723	323,127
固定資産合計	6,972,699	6,873,000
資産合計	15,484,241	14,909,762

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,644,615	1,245,224
電子記録債務	613,706	1,025,493
1年内返済予定の長期借入金	630,025	537,168
未払法人税等	186,734	11,916
賞与引当金	158,228	76,779
役員賞与引当金	38,000	6,000
その他	712,059	608,058
流動負債合計	3,983,370	3,510,639
固定負債		
長期借入金	2,946,426	2,841,374
退職給付に係る負債	153,646	159,196
その他	47,627	48,030
固定負債合計	3,147,700	3,048,600
負債合計	7,131,070	6,559,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,660	593,660
資本剰余金	616,512	616,512
利益剰余金	7,155,686	7,114,311
自己株式	△64,030	△64,030
株主資本合計	8,301,828	8,260,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,686	73,621
為替換算調整勘定	7,655	16,447
その他の包括利益累計額合計	51,342	90,068
純資産合計	8,353,171	8,350,521
負債純資産合計	15,484,241	14,909,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,246,697	2,629,062
売上原価	2,602,137	2,050,140
売上総利益	644,560	578,922
販売費及び一般管理費	433,899	416,234
営業利益	210,660	162,687
営業外収益		
受取利息	36	36
受取配当金	2,177	2,330
為替差益	2,266	-
試作品売却収入	4,749	1,331
故紙売却収入	1,689	1,140
補助金収入	3,241	2,899
その他	697	1,254
営業外収益合計	14,856	8,992
営業外費用		
支払利息	6,757	6,813
デリバティブ評価損	-	6,028
為替差損	-	6,357
その他	235	122
営業外費用合計	6,992	19,322
経常利益	218,525	152,358
税金等調整前四半期純利益	218,525	152,358
法人税、住民税及び事業税	91,177	9,751
法人税等調整額	△24,816	42,949
法人税等合計	66,360	52,700
四半期純利益	152,164	99,657
親会社株主に帰属する四半期純利益	152,164	99,657

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	152,164	99,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,544	29,934
為替換算調整勘定	△2,295	8,791
その他の包括利益合計	△10,840	38,725
四半期包括利益	141,324	138,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,324	138,383
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、その収束時期等を予想することは困難であることから、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについては、年度末にかけて緩やかに回復するとの仮定を置き行っております。

上記の仮定は、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	不織布関連事業 (千円)	紙関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	1,907,992	1,338,705	3,246,697	—	3,246,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,907,992	1,338,705	3,246,697	—	3,246,697
セグメント利益	299,196	136,668	435,865	△225,204	210,660

(注) 1. セグメント利益の調整額△225,204千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	不織布関連事業 (千円)	紙関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	1,310,859	1,318,203	2,629,062	—	2,629,062
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,310,859	1,318,203	2,629,062	—	2,629,062
セグメント利益	199,323	181,605	380,928	△218,241	162,687

(注) 1. セグメント利益の調整額△218,241千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。